

「福井県民歌」について

○概 要

- ・福井県民歌（昭和29年5月制定）

作詞 三好達治（詩人。大阪府出身、1900（明治33）年～1964（昭和39）年）

作曲 諸井三郎（作曲家。東京都出身、1903（明治36）年～1977（昭和52）年）

○制定経緯

昭和27年、県内では「福井復興博覧会」も開催されるなど、戦災と震災からの復興と今後の発展を目指し、県民の意気を高めようとの機運が高まり、「県民歌」が定められることとなった。

日本を代表する詩人、三好達治氏に作詞を、当時文部省の職員で作曲家・音楽評論家でもあった諸井三郎氏に曲づくりを依頼し、昭和29年完成。

○歌 詞

- | | |
|---|--|
| 一 長江は 野に横たわり
青海は岬にうたふ
国どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし | 二 白雲やそこになびかひ
白波やかしこにあがる
遠き世を今もさながら
悠久のときこそうつれ |
| 三 秋の日の垂り穂豊かに
いや足らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭 | 四 こゝにして新しき世は
古き世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新墾の道はるかなり |
| 五 その道のはるかなれこそ
いざ歌をうたはな今日し
十余郡 四市の民ら
わきてその若人らはや | |

○新曲

- 作曲 小松長生（音楽家・指揮者。三国町出身。藤島高校卒。1958（昭和33）年～）
コスタリカ国立交響楽団桂冠指揮者、セントラル愛知交響楽団名誉指揮者
金城学院大学教授、音楽芸術学博士

○発表

「スポーツフェスタ2014」

日 時 12月20日（土）～21日（日）

場 所 サンドーム福井

内 容 国体競技の紹介、本県出身アスリートのトークショー など